

Mono Power Amplifier

Mono 1.0

Easy Instruction Manual



✦ constellation audio

Mono 1.0 パワーアンプ ご使用上の注意点（これだけは最初にお読みください！）

設置に関する注意点

- ・ Mono 1.0 本体は重量が25kg程度あります。設置作業は必ず二人で行ってください。設置場所は25kgの重量に耐えられるしっかりした場所を選んでください
- ・ ご使用中は多量の熱を発生します。設置場所の通風と換気には十分に配慮ください

セットアップ時の注意点

- ・ すべての配線が完了するまで、メイン電源(本体背面)はオンにしないでください。メイン電源がオンの状態で、ケーブルの抜き差しをおこなうと、静電気による悪影響により回路が破損する可能性がまれにあります。
- ・ また、ご使用中にケーブルの抜き差しを行う場合には、必ずメイン電源をオフにしてから行ってください。

電源投入時の注意点

- ・ メイン電源(本体背面)をオンにすると Mono 1.0 はスタンバイ状態となります。この状態で、フロントパネルのスイッチを長押しすることにより、Mono 1.0は起動を開始します。約90秒後に動作状態に切り替わります。
- ・ Mono 1.0 の増幅回路はウォーミングアップが十分に進み回路の温度が十分に安定した状態で最高のパフォーマンスを発揮するように設計されています。普段ご使用になる際には、背面のメイン電源スイッチは常にオンの状態にしておくことをお奨めします。スタンバイ状態では微弱な電流が回路に流れることにより、ウォーミングアップの時間を短縮することに役立ちます

製品の保証について

製品の品質管理につきましては万全の体制を取っており、厳密な検査を経て出荷しておりますが、万一製品上の不備による自然故障が生じましたら弊社の保証規定に基づき、保証期間内であれば、保証書をご提示いただくことにより無償にて修理をさせていただきます。

製品の保証は、正規販売店より新品の状態でご購入いただいた場合に限らせていただきます。第三者よりの譲渡、あるいは中古品でのご購入による場合は、保証の適用対象となりません。この場合は保証登録カードにご記入・ご返送いただいても保証書を発行することはできませんので、あらかじめご了承ください。

なお、保証期間内であっても、保証書記載のご氏名と異なる方がご使用になっている場合には保証は適用されません。

保証書の発行について

お手数ですが、同梱しております保証登録カードに必要事項をお書きの上ご投函ください。弊社にてご愛用者登録を行ない、同時に保証書を発行させていただきます。保証書が発行されていないと、保証期間内であっても有償修理とさせていただきます。保証書が発行されていないと、保証期間内であっても有償修理とさせていただきます。保証書が発行されていないと、保証期間内であっても有償修理とさせていただきます。保証書が発行されていないと、保証期間内であっても有償修理とさせていただきます。

尚、保証登録カードのアンケート項目にも、もれなくご記入くださいますよう重ねてお願いいたします。お寄せいただきましたアンケート、ご意見、ご感想は、わたくしどもの貴重な資料として今後の弊社のサービス向上に役立たせていただく所存でございます。

修理、アフターサービスの御用命について

修理、アフターサービスの御用命は、お買い上げいただいた販売店にお申し付けください。

個人情報取り扱いについて

弊社では、お求めいただいた高価な製品を末永くご愛用いただくために、アフターサービスをご提供する目的で、製品に付属の「保証登録カード」にご記入・ご送付いただいてから「保証書」を発行するという方式を採用しております。お手数ではございますが、何卒主旨をご理解のうえご協力を賜りますようお願いいたします。

尚、「保証登録カード」にご記入、ご返送いただいたお客様を識別・特定し得る個人情報につきましては、弊社にて適切に管理することを社会的責務として重要と考え、下記の基本方針に基づき、お客様情報の保護、管理を徹底することを誓約いたします。

「保証登録カード」にご記入いただいたお客様情報の利用目的について

当社が得たお客様情報は、以下の目的以外には利用いたしません。

- ・お客様へのアフターサービス業務の基礎資料として
- ・弊社より発信するダイレクトメール等情報のお届けのため

お客様情報の管理について

当社はお客様情報を取り扱う管理責任者を置き、紛失、漏洩、不正な第三者提供などが無いよう、お客様情報の取り扱いに十分な注意を払います。

収集したお客様情報の第三者への提供、開示について

収集したお客様情報を、お客様のご許可なく弊社以外の第三者に提供することはありません。但し、お客様と当社間で製品の配送等のために、お客様に明示することなく委託業者に対しお客様情報の一部を開示することがございますが、利用目的の必要範囲内に限定してこれを行います。尚、この場合にあつては委託業者に対し、お客様情報を他の目的に使用、もしくは開示しない義務を履行させるべく対応します。

情報発信の停止とお客様情報の削除について

弊社では、製品をご愛用いただいておりますお客様に、新製品やイベントの情報等を郵便や電子メールにより発信させていただくことがありますが、ご不要の場合にはお客様からのお申し出により差止めさせていただきます。

お客様よりお客様情報の削除の申し出があった場合には速やかにこれを削除いたします。

目次

1 ごあいさつ	6
2 ご使用前に	6
2.1 付属品	6
2.2 安全のために	6
2.3 ユーザーマニュアル	7
2.4 電源について	7
2.5 輸送と梱包について	7
2.6 クリーニング	7
2.7 メンテナンスとサービス	7
3 設置する	8
3.1 開梱する	8
3.2 設置位置	8
4 接続について	9
4.1 プリアンプとの接続	9
4.2 スピーカーとの接続	10
5 操作の仕方	11
5.1 電源をいれる	11
5.2 動作状態にする	12
5.3 ミュート機能	12
5.4 スタンバイ状態にする	13
5.5 背面のミュートスイッチについて	14
6 スペック	15

1 ごあいさつ

この度は、Constellation Audio Mono 1.0 パワーアンプをお買い求めいただきありがとうございました。

Mono 1.0 は、究極のパフォーマンスと精密さを併せ持った優れた製品ですが、音質最優先の設計のために、通常のパワーアンプと異なり、ご使用には若干の注意が必要です。

Mono 1.0の性能を十分に発揮させていただくためにも、本書をよくお読みいただきますようお願い申し上げます。

2 ご使用前に

2.1 付属品

付属品が全て揃っていることをお確かめください。もし欠品しているものがある場合は、お買い求めになった販売店までお問い合わせください。

- ・ Mono 1.0 パワーアンプ本体
- ・ 電源ケーブル
- ・ ユーザーマニュアル(本書)
- ・ 保証登録カード

2.2 安全のために

以下の点を必ず守ってください

- ・ 本体は重量物(25kg)です。しっかりとしたラックや台の上に設置してください。あるいはしっかりした床の上に直接設置してください
- ・ 長時間のご使用により本体部より熱を発生します。通風の悪い場所に設置することは避けてください。特に左右の通風孔をふさぐことの無いように設置してください
- ・ 水の近く、あるいは極端に湿度の高い場所に設置しないでください。また液体に浸けるようなことは避けてください。
- ・ 直射日光の当たる場所には設置しないでください。また熱を発生する家電製品などの近くに置くことも避けてください。
- ・ 本体部・電源部ともに、ご自身で筐体を開けることは避けてください。お客様ご自身の手により調整を必要とする部分はありません。

2.3 ユーザーマニュアル

Mono 1.0の接続や操作を行う前に、本書をよくお読みください。お読みいただいた後は、手の届く場所に常に置いておいてください。接続や操作方法が不明な場合は、お買い求めになった販売店または輸入代理店までお問い合わせください。

2.4 電源について

電源電圧を正しく選択してください(日本国内向けは100Vです)。付属の電源ケーブルは、他の機器には使用しないでください。

Mono 1.0の配線接続を行う場合や、クリーニングを行う場合、雷雨などの災害時、また長期間使用しない場合には、安全のため電源ケーブルをコンセントから抜いてください。

2.5 輸送と梱包について

修理などでMono 1.0を輸送する際は、輸送時のダメージから守るために必ずオリジナルの段ボールカートンに入れてください。梱包材は乾燥した、清潔な環境で保管してください。

2.6 クリーニング

クリーニングの際は、柔らかく、乾燥したクロスを使用してください。洗剤などは絶対に使用しないでください。機器にダメージを与える場合があります。

2.7 メンテナンスとサービス

Mono 1.0は、内部にサービスパーツを含んでおりません。機器を自身で開けること、改造すること、修理することは決して行わないでください。お客様ご自身の手で筐体を開けると、アフターサービス保証対象外となる場合があります。Mono 1.0を修理やメンテナンスする必要がある場合は、必ずお買い求めになった販売店までご依頼ください。

3 設置する

3.1 開梱する

オリジナルの梱包材は保存しておいてください。アフターサービスなどのためにMono 1.0を輸送する必要がある際に必要となります。本体は重量がありますので持ち上げる際は十分注意してください。かならず2人で作業していただくようお願いいたします。梱包、設置の際は機器表面を傷つけないように十分気をつけてください。

3.2 設置位置

Mono 1.0は、しっかりとした水平なラックや台に載せてください。空気が適切に循環することを確認してください。

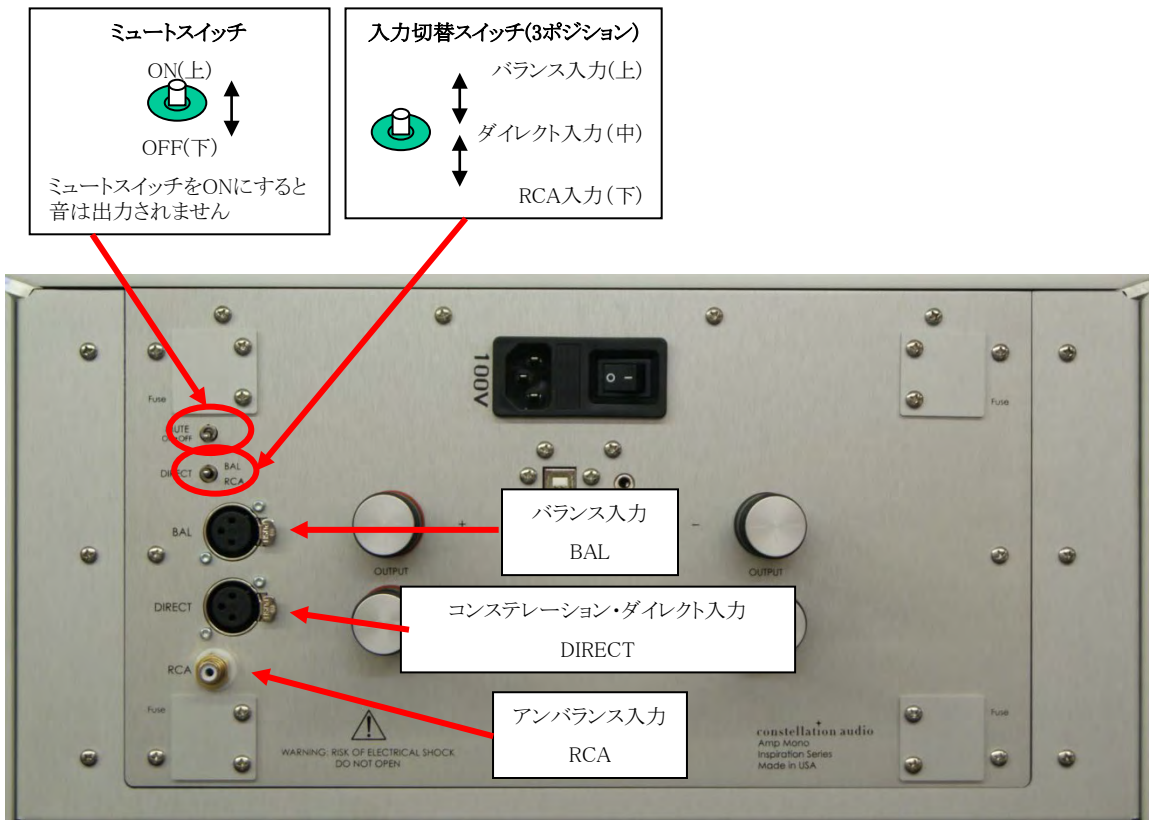
本体は特殊軟質樹脂でできた4本の脚を介して設置されます。この軟質樹脂製の脚は十分な制振効果を持っておりませんが、それでも、設置される場所はしっかりとしていることが音質的には望ましいことは言うまでもありません。

4本の脚は、高さ調節機構を持っておりません。設置したときにガタつくような水平の取れていないラックや台を使用することは避けてください。

4 接続について

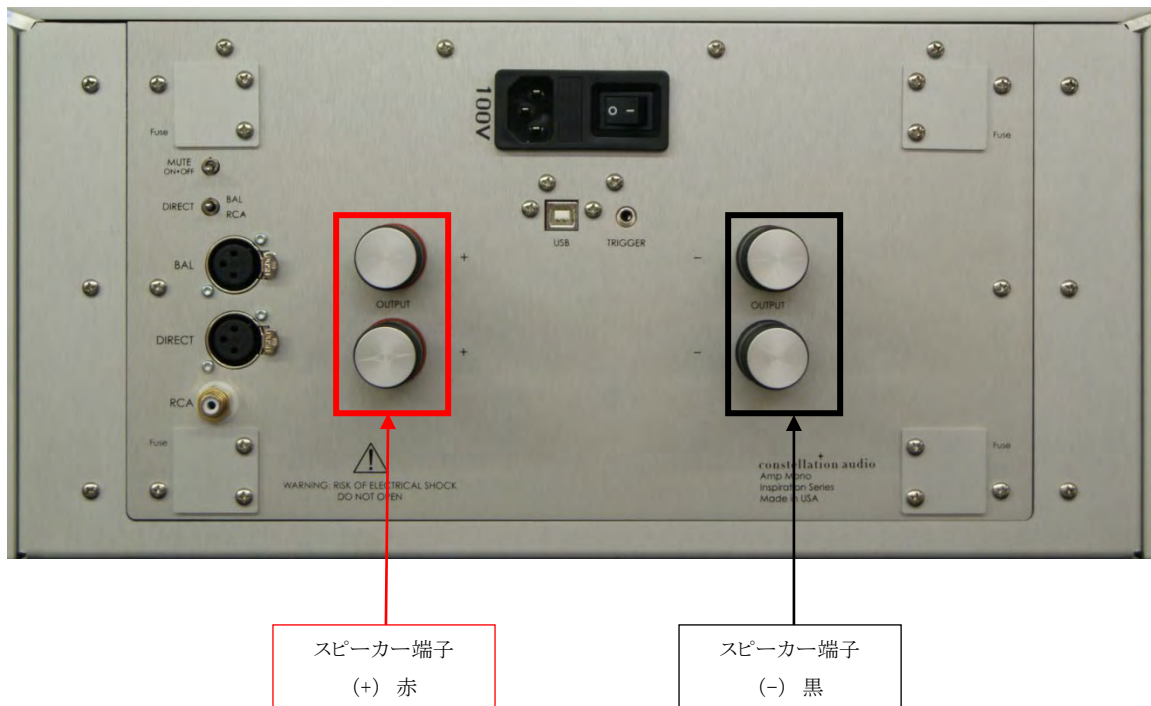
4.1 プリアンプとの接続

- ・ 質のよいバランスケーブルあるいはRCAインターコネクトケーブルをご使用ください
- ・ コンステレーション・オーディオのプリアンプと接続する場合には、Constellation Direct 入力端子に接続してください
 - ・ バランス入力端子あるいはアンバランス入力端子からの入力信号は、入力段にラインステージ・ゲイン・モジュールを搭載しています。このゲイン・モジュールは、メイン増幅段に送られる信号を完全なバランス信号に整えるために使われます。コンステレーション・オーディオのプリアンプはすでに同じラインステージ・ゲイン・モジュールをプリアンプ内に持っていますので、この部分をバイパスするConstellation Direct に接続いたします。
 - ・ 使用する入力端子に合わせて、入力切替スイッチを正しく設定してください



4.2 スピーカーとの接続

- ・ 質のよいスピーカーケーブルをご使用ください
- ・ スピーカー端子は、スペードプラグあるいはバナナプラグに対応しています。スペードプラグをご使用の際には、工具を使用せず手でしっかりと締めてください。バナナプラグをご使用の際には、端子を緩めてノブを外すことにより、バナナ端子を挿入できるようになります。接続には脱落防止のロック機構を備えたバナナプラグをご使用ください。

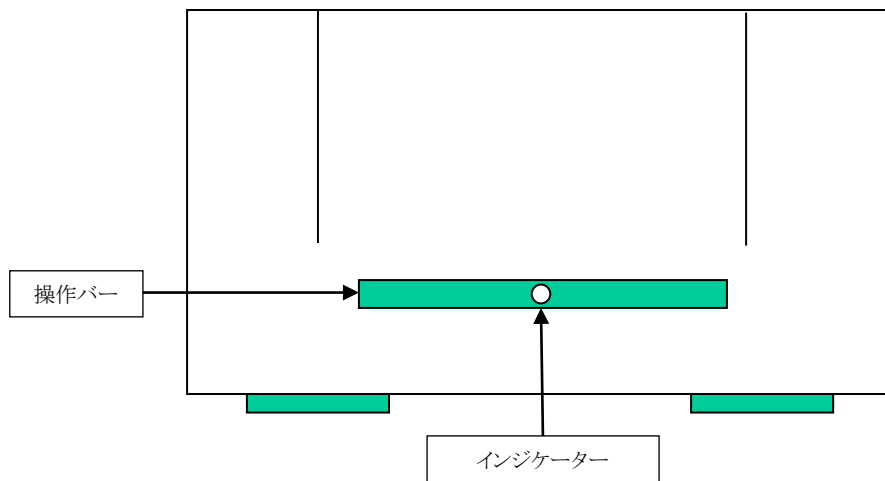
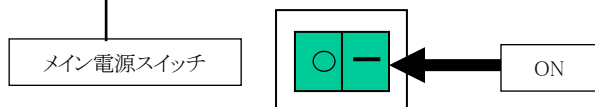


プラスマイナスに上下各2個の端子がございますが、
どちら側に接続されても構いません。

5 操作の仕方

5.1 電源をいれる

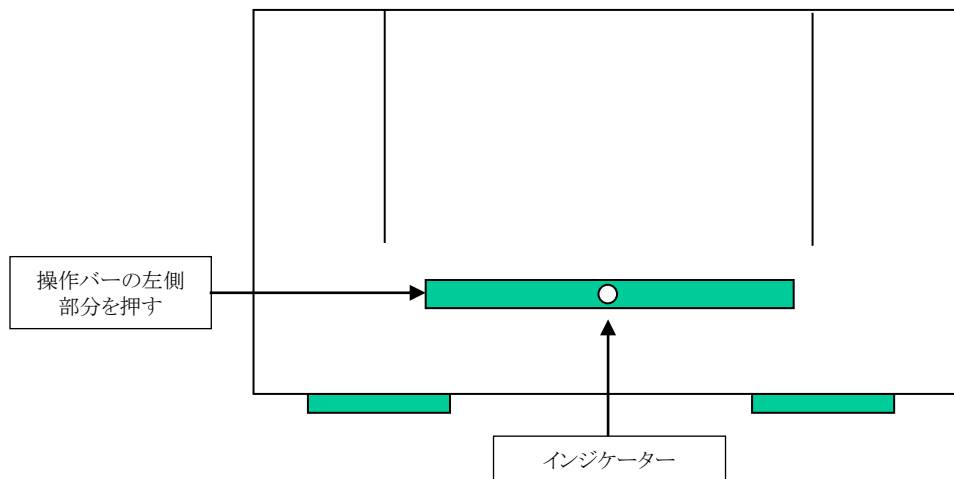
- すべての配線が完了していることを確認した後に、本体背面部のメイン電源スイッチをオンにします。
 - 背面のメイン電源スイッチをオンにすると、フロントパネル・操作バー上のインジケータが赤く点灯します



メイン電源をオンにした状態で赤く点灯
(スタンバイ状態)

5.2 動作状態にする

- ・メイン電源スイッチが オンの 状態では、インジケータは赤く点灯しています (スタンバイ状態)






- ・ 操作バーの左側部分がスイッチとなっています。スイッチはゆっくり確実に押してください。
- ・ スタンバイ状態 ● (赤) において、スイッチを押し続ける(2秒程度)と、本体より「カチッ」という音が聴こえ、インジケータが ● (緑) に切り替わります。その後すぐにインジケータは点滅を始めます ● (緑) (セルフテスト)
- ・ セルフテストには90秒程度かかります。セルフテスト終了後にインジケータは● (青) に切り替わり、動作状態となります

5.3 ミュート機能

- ・ 動作状態にあるとき、ミュート機能により一時的に音を止めることができます。スイッチを短い時間(1秒以下)押すことにより、ミュート オン (消音状態) となります。ミュート状態ではインジケータは青色で点滅します ● (青)
- ・ ミュート解除して動作状態に戻るには、再度スイッチを短い時間(1秒以下)押します

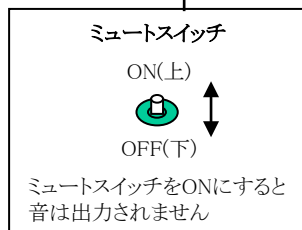
インジケータと本体の状態		
赤色 点灯	● (赤)	スタンバイ状態
緑色 点滅	● (緑)	動作に入る前のセルフテスト中
青色 点灯	● (青)	動作状態
青色 点滅	● (青)	ミュート状態
赤色 点滅	● (赤)	スタンバイ状態に入る前のセルフテスト中

5.4 スタンバイ状態にする

- ・ 日常で普段ご使用になる際には、背面のメイン電源スイッチは常時 オン のままにしておくことをお奨めします。普段の電源オフには、スタンバイ状態をご利用ください。ただし長期間ご使用にならない場合などは背面のメイン電源スイッチをお切りください。
- ・ 動作状態  のときに、スイッチを押し続ける(2秒程度)と、インジケータが赤色点滅に切り替わります。(セルフテスト) 
- ・ 90秒程度経過するとインジケータは 赤色点灯に切り替わりスタンバイ状態となります 

5.5 背面のミュートスイッチについて

- ・ 本体背面にミュートスイッチを備えており、スイッチを ON に切り替えると一時的に音が出なくなります(ミュート オン)
- ・ 背面の配線を変更するときなど、一時的に出力をとめる場合に使用するものですので、普段ご使用になる際には常時 オフ側にしておいてください
- ・ フロントスイッチによるミュート機能とは連動していません。また、この背面スイッチでミュートを オン にしてもインジケータの表示は変わりません。



6 スペック

Inputs	2 x XLR (1 for Constellation Direct), 1 x RCA
Speaker Outputs	2 pair x metal binding posts
Power output per channel	8ohms (1 kHz @ 0.2% THD+N) 400 watts
Power output per channel	4ohms (1 kHz @ 0.2% THD+N) 800 watts
Frequency response	10 Hz to 80 kHz, +0/-0.5 dB
Gain	14dB (Constellation Direct) 26 dB Balanced & RCA
THD+N (1 kHz @ rated power)	<0.05%
Output impedance	0.1 Ω
Damping factor	80 (8 Ω load)
Input impedance	20K Ω Constellation Direct、 balanced 10K Ω unbalanced
Output noise	<70 μ V, 500 kHz BW, -116 dB @ 250 watts
Dimensions	432 x 483 x 216 mm (wdh) 25kg

Stella Inc.

Distributed By: 株式会社ステラ

Address: 〒173-0026 東京都板橋区中丸町51-10

Tel: 03-3958-9333

Fax: 03-3958-9322

URL: <http://www.stella-inc.com>

E-mail: e-info@stella-inc.com